

「中央公園プロムナード周辺のまちづくりビジョン」の策定に伴い、開催した中央公園プロムナード周辺のまちづくりシンポジウムの様子をお届けします。

シンポジウムには77名の参加がありました！

日時：2026年7月20日（月・祝）10:00～12:00

場所：千葉市役所1階 イベントスペース

市長講演：千葉開府900年とこれからの中央公園プロムナード周辺のまちづくり

はじめに、神谷市長より、「千葉開府900年とこれからの中央公園プロムナード周辺のまちづくり」について講演がありました。



話題提供

各登壇者より、中央公園プロムナード再編に向けた関わりをテーマに、以下のとおり、話題提供がありました。

- ・まちづくりビジョン実現に向けた地域の関わり方（千葉大学 松浦准教授）
- ・まちづくり協議会での取組みを通じた、今後の中プロ再編への関わり（千葉市中心市街地まちづくり協議会 栗原会長）
- ・CSPプロジェクトの動きと沿道企業からみる中プロ再編への関わり（株式会社京葉銀行 白石地域共創部長）
- ・沿道店舗からみる中プロ再編への関わり（株式会社レボ 野本代表取締役社長）



クロストーク：地域でともに取り組む、ビジョン実現への展望



話題提供を踏まえて、登壇者によるクロストークが行われました。

トーク終了後、千葉大学名誉教授・北原先生から総括をいただいた後、神谷市長から、今年度実施する社会実験（歩道等の利活用を検証）、来年度実施する実証実験（車線の一部を規制し、周辺交通への影響を検証）の発表がありました。

オンラインで皆様のご意見、アイデアをお聞かせください

●「中プロデザインラボ」オンライン特設サイトのご案内

デザインラボで
考える、中プロの未来
を知りたい！

他人の意見を知り、
あなたの考え、
アイデアも伝えたい！

プロジェクトを「フォロー」すると、継続的にお知らせが届きます！
（※「my groove」への会員登録が必要です。最短1分で完了）

こちらからアクセス！



クロストーク

クロストークでは、「地域でともに取り組む、ビジョン実現への展望」に関する4つの論点で、登壇者が意見を交わしました。

①中央公園プロムナードを、どのような場所にしたいか

市民の憩いの場
（滞在や目的地）

誰もが安心・安全に歩ける
（夜でも灯りがある）

空間活用の活動（CSPプロジェクト等）の継続

②地域の企業・店舗・団体はどのように関わることができるのか

継続的に活動を支えたり、団体だけでなく、個人でも活用できる仕組みづくり

様々な企業との
連携による取組
の推進

出店したいと思える
良い循環づくり

活用に関する円滑な
手続きの支援

③イベントのにぎわいを日常の風景につなげるには

参加者を主催者に！
日常的な活用や参加
できる仕組み

参画する事業者への
経済的なメリット

地域の野菜の販売など、
地産地消に触れられる
日常のにぎわいづくり

活用に向けて必要となる
インフラの整備や沿道の
にぎわい創出に向けた
まちづくりによる誘導

④ビジョン実現に向けて、まず何から始めるべきか

空間活用に向けた
ルールづくり

民間の事業者や行政と連携し、
新たな活用に向けた意見交換と実践

空間活用のニーズ発掘と
整備計画への反映、活用
の担い手の巻きこみ

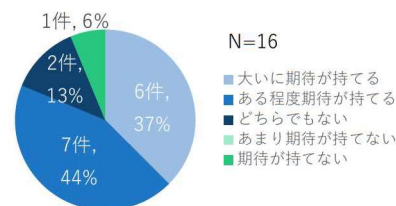
夜の人通りを
増やしていきたい

◇会場参加者からの質問

登壇者による意見交換終了後、会場参加者からも、今後の中央公園プロムナード周辺のまちづくりの実現に向けた具体的な手法やイメージ等に関して、多くの質問がありました。

まちづくりシンポジウム参加者アンケート結果

①「まちづくりビジョン」における将来のまちの姿についてどう感じましたか？



将来のまちの姿について、約8割の方から「期待が持てる」との回答がありました。

②今後の中央公園プロムナード周辺のまちづくりにどの程度関わりたいと思いますか？



今後のまちづくりへの関わりについて、約8割の方から、「ラボでの意見交換」及び「今後の社会実験やイベント」に参加したい方が約8割

中プロ・デザインラボからのお知らせ

<第8回（次回）中プロ・デザインラボの開催>

まちづくりビジョン策定から初めての開催となる第8回ラボでは、「中央公園プロムナード再編の基本計画」策定に向けて、本年度の中プロ・デザインラボでの活動方針・内容を共有するとともに、歩行空間拡大の方向性や自転車走行環境について、ワークショップ形式で、意見交換を行います。

日程：令和8年8月20日(木)